

# 立教観光クラブ ニュース

第 92 号  
平成 18 年 2 月 28 日

発行人 荒井 詔二郎  
編集人 宮島 章  
印刷 株式会社 北斗社  
発行所  
〒352-8558 埼玉県新座市北野1丁目  
立教大学観光学部  
橋本研究室内  
TEL. 048(471)7452

観光事業にたづさわる立教大学校友相互の親睦をはかり、わが国の観光事業発展のためいささかなりとも寄与したい。

## 立教観光クラブ

### 荒井会長 年頭挨拶

荒井 詔二郎 (S 42 経)

新年明けましておめでとうございます。お健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、我々が所属する観光業界については、去年は国内旅行は愛・地球博の開催により全体としては微増でしたが、デスティネーションにより明暗が分かれました。海外旅行はアジアの鳥インフルエンザ、中韓の対日感情悪化によるマイナス要因もありましたが前年をクリアしました。訪日外人旅行も V J C の効果 etc もあり 7,000 千人強を集客し、対前 10% 増を確保したようです。そしてここへ来て経済局面が踊り場を脱却し日銀短観でもその他の調査でも景気回復が顕著となっており、今年は大手旅行社の調査でも前述の 3 分野とも好調に推移するだろうと予測しています。

しかし相変わらず国内の温泉・旅館で厳しい状態に置かれているところも少なくありません。その再生のスキームも M & A あり、R C C (整理回収機構) あり、産業再生機構あり、内外のファンドありと複雑・多様

化しており今年も目を離せないようです。又、ホテル業界では一部ビジネスホテルの「耐震偽装問題」が発覚し影を落しています。

観光業界はムード産業と言われて久しいですが、従来のように景気が良ければみんな良くなるという図式は有り得ず、マネジメント力により大きく差が付く時代となっています。

景気の明るい見通しを波とか風に例えれば、黙っていて波とか風はつかめませんし、前向きでプラス思考かつ積極的な行動により波にうまく乗り、風をとらえ、フォローの風に変えることが大事であり、トップの力量が問われる年になりそうです。

一方我が母校立教大学ではこの 4 月に大きな動きがあり、新学部として池袋に経営学部、新座に現代心理学部が誕生する一方、学科の新設、入れ替えも活発で、我々観光クラブと縁の深い観光学部にも従来の観光学科にプラスして交流文化学科が誕生します。

「観光は、ホテルや旅行業など産業サイドから見るだけでなく、産



荒井会長と奨学生

## 藤 棚

### 私の提案

カリスマ主婦から始まって、カリスマ美容師、カリスマソムリエ、カリスマ・・・とマスコミが作ったカリスマは枚挙の暇も無いぐらい多彩です。

そもそも、カリスマとは本来「神の賜物」という意味で、常人を超える非日常的な能力や資質の持ち主を指す言葉です。具体的には、統率力、指導力について言われる事が多かったもので、「特定分野での人より抜きん出た能力の持ち主」という意味で捉えられているようです。

前述のマスコミ認定のカリスマに対して、「公」認定のカリスマがあるのをご存知でしたでしょうか。それは内閣府、国土

交通省、農林水産省にまたがる『観光カリスマ百選』選定委員会により、選定された方々です。観光カリスマ選定の経緯は、「経済活性化等に大きく貢献する観光の振興に向けた取り組みが政府において進められているところではありますが、従来型の個性の無い観光地が低迷するなか、各観光地の魅力を高めるためには、観光振興を成功に導いた人々の類まれな努力に学ぶことが極めて効果が高く各地で観光振興に頑張る人を育てていくため...」としています。

そして我が立教観光クラブから、石川県和倉温泉加賀屋会長の小田禎彦氏と群馬県草津町長の中澤敬氏のお二人が観光カリスマに選定されています。お二人は既に立教観光クラブ賞を受賞されていますが、観光カリスマに選出されたことは我々にとっても誇りであります。(AM)

上野のれん会加盟店  
全日本シティホテル連盟

〒110-0015  
東京都台東区東上野 3-17-5  
TEL.03-3834-1601  
FAX03-3832-5424

金子 浩一 36 年英卒



東京の  
小さな  
ホテル

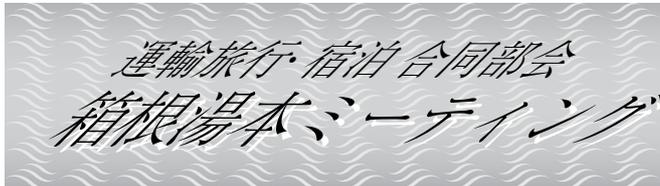
カプセルホテル  
ビジネスイン新橋  
Business Inn Shinbashi

本館 / 〒105-0004 港区新橋 4-12-11 TEL.03-3431-1391  
annex / 〒105-0004 港区新橋 4-12-10 TEL.03-3431-1020  
<http://www.rikkyo.com/bis/>

業と交流、文化的機能が両輪となってはじめて社会的な意味をもつという基本的な考え方のもと、交流的側面と地域研究の側面の2つの視点から、他文化への視点を養い、他文化状況下で交流の実をあげうる国際公務員、ジャーナリストなど国際的人材の育成を目指す」というのが新学科の方針です。大学経営が一段と厳しくなるなか、立教大学は勝ち組に残るべく、改革と進化を遂げつつあり、大いにエールを送りたいと思います。

我が立教観光クラブとしては、本年は大学の関連機関とのコミュニケーションを更に良化していくこと、一方で宿泊部会、運輸旅行部会、料飲部会の諸活動を積極的に推進していくことで会員の皆様のネットワーク作りのインフラをより整備して行きたいと思っております。立教観光クラブのご活用をよろしくお願い申し上げます。

本年も役員一同頑張る所存でございますので、会員の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成18年2月19日(日)、18時より荒井会長以下27名の参加の下に、箱根町の湯本富士屋ホテルにおいて運輸旅行部会(宮田悦雄部会長)と宿泊部会(玉井和博部会長)の合同による「箱根湯本ミーティング」が開催された。

18時からのミーティングでは、富士屋ホテル(株)勝俣伸社長(S51観)による講演会が開催された。講演会では「観光産業の現状と富士屋ホテル株式会社の人材教育」のレジュメが配布され、ビジット・ジャパン・キャンペーン(VJC)や所謂2007年問題など最近の観光産業を取り巻く状況への期待と対応への考え方、箱根町の観光産業の状況、明治11(1878)年創業の富士屋ホテル2代目社長山口正造氏と立教大学観光学部との歴史的な関係など1時間余に亘り講演が行なわれた。

講演の後、19時過ぎからは会場を和式の宴会場に移し約2時間に亘り懇親会が、その後も、勝俣社長のご好意により2次会が設けられ全員の参加の下

に深夜まで様々な話の輪が咲くなど、時間を気にせずゆっくりと語り合い、情報交換と親交を深め有意義な時間を過ごすことが出来た。

翌20日は、勝俣社長のご好意により、湯本富士屋ホテルでの朝食の予定を変更し、希望者は宮ノ下の富士屋ホテルのメインダイニングルーム「ザ・フジヤ」での朝食をアレンジしていただき、約20人が素晴らしい雰囲気の中で朝食のひとつときを楽しんだ。

### 勝俣伸社長の講演の概要

#### ae, 国内・海外旅行等の状況

今年は、景気の回復効果もあり旅行の消費額も2%増が、海外旅行は対前年3.6%増の1795万人、国内旅行についても5%増が夫々見込まれる。また、国を挙げてのVJCにより入国者数も6~7%増の730万人が見込まれる。このような状況もあり、富士屋ホテルでは今年のKEY WORDを「競争力の強化」としている。

また、1847年生まれの所謂団塊の世代80万~100万人の退職が始まる「2007年問題」を、「問題」と捉えるか「チャンス」と捉えるかが問題だ。

日本の企業を支えた人々の第2の人生のスタートであり、その退職金の総額は50兆円と言われている。退職後の欲求の第1が旅行ということなので、そのうちの1~2%でも回ってくれば、大変大きな市場になる。

#### ae, 箱根町の状況

箱根町は7町村の合併により構成された面積93平方キロの町で、年間来訪者数は1930万人、その内の宿泊者数は463万人、そして宿泊による売上は672億2千万円で、町の固定資産税の70%が観光産業からとなっている。町長は年間の宿泊客数を500万人にしたいとアジア諸国へもセールスを掛けている。

現在、旅館・ホテルをはじめとする宿泊等施設数は182、民宿33、ペンション23、入浴施設22、企業の保養所が320の約580で、1日当りの宿泊可能室数は3657となっており、その規模では日本のベスト5に入っている。旅館・ホテルの宿泊可能人数は20272人、その他が13400人となっている。町では



講演中の勝俣社長

古代のミネラル、太古のめぐみ。

鹿児島市

城山観光ホテル  
TEL.099-224-2211

西鉄薬院駅西隣  
TEL.092-781-2211

代表取締役社長 保 太生 (昭和47年卒) <http://www.shiroyama-g.co.jp>

感謝と真心でご奉仕。Ⓜ 東洋観光グループ

ひろしま国際ホテル  
730-0032 広島市中区立町3-13 ☎(082) 248-2323

ホテルセンチュリー21広島  
732-0824 広島市南区約場町1-1-25 ☎(082) 263-3111

<http://www.toyokanko-g.co.jp>/E-mail:general@toyokanko-g.co.jp

箱根町観光協会を中心に、将来に向けて滞留型の魅力的な観光地造りに努めている。年間訪問客数はTDRが3000万人、東京の台場が1000万人だが、首都圏からのお客様が80%を占める箱根町では「癒し、温かみ、優しさ」をテーマにした観光地造りを目指している。富士屋ホテルは1878年の開業以来、老舗旅館との共存共栄を図り、地域社会の中で愛されるホテルでありたいと考えている。しかし、最近、ある老舗有名旅館の経営が行き詰まり国内最大手の会員制宿泊施設会社を買収されるなど、ブランド力のある観光地箱根町にも大きな変化が押し寄せている。しかし、町の中心産業である観光産業は大きな雇用効果をもたらしており、人口14500人、約7200世帯の町内だけでは賄いきれず小田原市など町外からの就労者も多い。このような状況の中、小田原市へのHILTONの進出はエリアの中での共存共栄による地域活性化につながり、お客様のニーズに対する情報発信にもなるので、箱根町のようなリゾートへも高級ブランドが出て来て欲しい。現在、箱根の観光産業を牽引している大手資本は、プリンスホテル、小田急グループの国際観光、藤田観光、そして私共のオーナー国際興業の4社、また、地域の観光産業を支えている主な金融機関は横浜銀行、静岡銀行、駿河銀行の3行でどれも元気な銀行ばかりである。

#### æ” 山口正造氏と立教大学

山口正造氏は1882年、日光金谷ホテルの創設者金谷善次郎氏の次男として生まれ、富士屋ホテル創設者の山口仙之助氏の長女と結婚し山口家に入り、教育熱心なホテルマンとしても有名で、日本で初めてのホテルスクールである「富士屋ホテルトレーニングスクール」を昭和5年に開設し多くの優秀なホテルマンを輩出、日本のホテル産業の発展に大きな功績を残した。同氏は第2次大戦も末期の1944年、61歳で逝去され、ご葬儀に集まったご香典が立教大学に寄贈され、そのお金を以って設立されたのが観光講座、現在の観光学部であることは立教大学OBとして、観光産業に携わる一人として知っておかなければならないことです。



山口 正造氏

文責：満野

# 観光都市 江戸

「観光」という単語に釣られて、通勤時間の暇潰しとして買い込んだ新書が思いのほか面白かったので、皆さんにも紹介させていただきます。

#### ◆ 江戸は思いのほか安全で観光が盛んだった。

泰平の世として知られる江戸時代は、観光旅行が庶民にも身近になった最初の時代である。観光地というと風光明媚な所あるいは名所旧跡がイメージされ、このため江戸の町が観光都市として取り上げられたことは無かった。しかし、江戸こそ最大の観光都市であると看破したのが本書である。

江戸には当時百万人の人口があり、地方からは参勤交代で強制的に武士が江戸へ出てきて「江戸名所図絵」等の観光案内パンフを頼りに名所見物をしていたようである。

#### ◆ 将軍吉宗が観光地創出

吉宗は将軍の廟所である上野寛永寺が桜見物の遊覧客があまりに度を外すのは良くないと、飛鳥山、隅田川堤、品川御殿山、中野桃園等に植樹を行い、なおかつ水茶屋まで作らせている。こうした行為は吉宗が紀州家から将軍家を継いだことの正当性を民衆に知らしめるためのものだとしている。

因みに中野桃園は前将軍綱吉(犬公方)が作らせた巨大な犬小屋跡の再開発(善政)である。

#### ◆ ご開帳は観光産業

開帳には居開帳と出開帳の2種類あり、出開帳により一地方寺院から全国区へと出世した成田山新勝寺を観光産業のマーケティングの見本だとしている。出開帳は年間開催数が厳しく制限されており、長野の善光寺等と並んで成田山が出開帳を開催し、かつ成功を収めていくには、成田の領主稲葉正道(老中)のバックアップ、成田出身の市川団十郎の競演、出開帳を開いた場所の選定など、サクセスストーリーが語られているが、ここは本書を読んでいただきたいところである。新潮新書「観光都市江戸の誕生」(安藤優一郎)

文責：宮島

風流野天風呂棟

湯亭

男湯 女湯

24時間風呂

伊勢志摩国立公園/鳥羽浦  
政府登録国際観光旅館

田家

〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽1丁目 TEL.(0599)25-2500(代)  
FAX.(0599)26-2552

◎印刷部門 (Printing) オフセット印刷。書籍・名簿・チラシ等、低価格・高品質・小ロット承ります。

◎プリプレス部門 (Pre-press) パンフレット・書籍・雑誌のデザイン版下制作

◎Macintosh・Windows DTP入出力  
入力から編集・出力までOK! HTMLファイルの作成、既存データの加工、スキャン、画像の修正等承ります。

スポーツライフ社 〒332-0012 川口市本町4-14-8  
TEL. 048-224-7556  
社長 本間良雄 S.52年観光卒 090-3220-9765

# 立教トピックス

85号、88号でもとりあげたとおり、ここ数年、本学は「アカデミックプラン」と称する大規模な改革を実現すべく、さまざまな取り組みを進めてきました。今年の4月にはその成果として新学部や学部再編が本格的に始動します。今回は、2学部2学科体制から3学部6学科体制へと大きく変貌を遂げる武蔵野新座キャンパス（本年4月より「新座キャンパス」と呼称が変更になります）の動向を中心に紹介しましょう。

武蔵野新座キャンパスは1998年以来、観光学部とコミュニティ福祉学部の2学部体制が続いてきました。本年4月、観光学部には新たに交流文化学科が新設され、2学科体制となります。この新学科は、近年観光の役割として注目されている「交流」に焦点をあて、地域研究をベースとして多文化への視点を養い、国際公務員やジャーナリストなど国際的人材の育成をめざすユニークな学科です。コミュニティ福祉学部も同様に、福祉学科・コミュニティ政策学科の2学科体制となります。

そして新たに、新しいタイプの人間学の創造をめざす「現代心理学部」が開設されます。この新学部は、現在の文学部心理学科が母体となる心理学科と、映像身体学科の2学科構成です。とくに、シナリオの執筆や撮影スタジオ、ロフトを使ったシネマ、ダンスや演劇などの実習を行う映像身体学科は、近年若手映画監督を数多く輩出している本学ならではのユニークなものとなると期待されています。

3学部体制を控え、今年度、同キャンパスは工事車輛が頻繁に出入りしておりましたが、昨秋以降、学生関係施設（ユリの木ホール）、新事務棟（アカデミックホール）がすでにオープンし、8階建ての新研究棟やスタジオ棟等も完成し、4月を待つばかりとなりました。また、コンビニエンスストアや、念願であった新座駅、志木駅とを結ぶ送迎バスの導入などが予定されています。

なお、池袋キャンパスでは、経済学部経営学科と社

会学部産業関係学科を母体とした「経営学部」（経営学科、国際経営学科）が新設され、経済学部と社会学部には、それぞれ新学科（経済政策学科、メディア社会学科）が開設され、文学部も既存のキリスト教学科・教育学科に加え、文学科（新設：英米文学、ドイツ文学、フランス文学、日本文学、文芸・思想の5専修）、史学科（改編：世界史学、日本史学、超域分化学の3専修）の4学科体制となります。

今春の本学の入試は、一般入試・センター入試を合わせて志願者数が約12000人増（前年比25%増）となりました。生徒数が減少し、定員に満たない大学が少なくない中で、例外的な現象といえるでしょう。広報活動に今まで以上に力を入れたことや、「学生の満足度の高い大学」として雑誌などで取り上げられたこと等が影響していることと思いますが、学生が実際に充実した学生生活を送れることなしに、そうした社会的評価は続きません。本学は、学問・生活両面で一人ひとりを大切にする大学として、また、自分の意思と責任で行動していく「自由」の気風にあふれる大学として、進化し続けています。観光クラブ会員の皆様にも、引き続き益々のご支援を賜れば幸いです。

（観光学部教授 橋本俊哉）

## 運営基金 寄付者リスト

平成17年8月～平成18年1月 計48名  
184,000円

阿久津 正憲、太刀掛 照幸、小野 尚、河路 光雄、若林 修、花岡 貞夫、小堀 真吾、田野 敏明、菅原 勇一郎、田坂 史典、川田 喜一、小野 藤太郎、伊藤 守、金谷 輝雄、岩倉 圭彦、蘆野 進、斉藤 さき子、平野 利晃、藤原 邦彦、保太生、山田 宏、飯田 利幸、田口 素、佐藤 雄二郎、栗原 盾雄、山口 登、山元 春三、朱 憲論、武内 一良、田中 優子、羽山 清篤、黒須 剛、尾田 浩章、瀧本 勝一、田沢 幸子、福田 朋英、沓名 滋、上川 幸夫、宮坂 衛、清水 誠、矢田部 修一、岡本 伸之、樋口 経雄、片野 佳弘、荒井 詔二郎、村尾 欣也、江口 壽行、JTB立教会、運営委員会新年会

## 立教観光クラブ 外国人留学生奨学金 寄付者リスト

平成17年8月～平成18年1月 計13名  
65,000円

小野 尚、田坂 史典、伊藤 守、岩倉 圭彦、鏑 一郎、保太生、朱 憲論、瀧本 勝一、福田 朋英、沓名 滋、岡本 伸之、樋口 経雄、荒井 詔二郎

## あなたの不動産眠っていませんか？

学生マンションによる不動産の有効活用をご提案します。



長期間にわたって一定の賃料をお約束。独自の事業モデルで安定したマンション経営を実現。

**毎日コムネット** JASDAQ  
代表取締役社長 伊藤 守 (昭49年級卒) 証券コード8908  
〒100-0005  
東京都千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワーN館13階  
【宅地建物取引業 国土交通大臣(2)第5797号】  
TEL 03-5218-8908  
ホームページ <http://www.maicom.co.jp>

web planning  
office foota

■ ホームページ活用していますか？ ■

立教観光クラブ・オフィシャルサイト  
**kankoclub.net**

<http://www.kankoclub.net>

メルマガ会員募集中!

ウェブ・プランニング

**オフィス風太** <http://www.foota.co.jp>

tel.04-2960-1586

〒359-1143 埼玉県所沢市宮本町2-18-8

代表取締役社長 木村雅英 (昭62卒) info@foota.co.jp